

令和2年度第1回松山文化伝承館運営委員会 議事録

◎開催日時

令和2年10月7日（水）午前10時00分～午前11時30分

◎会場

松山文化伝承館 会議室

◎協議事項

（1）令和元年度事業実施報告について

・事務局資料に沿って説明

（委員）「松山の甲冑と火縄銃」において、砲術伝承保存会が火縄銃を披露したとのことだが、火縄銃を撃てみたい人がいた場合、撃つことは可能なのか。展示だけでなく、体験も入れるとよいと思う。

（事務局）鉄砲を撃つことは免許が必要なためできない。芝生が練習場になっているため練習を見せることは可能である。砲術伝承保存会に相談を試みる。

（委員）松山まつりの際は人も多く来たはずである。どのように対応を行ったか。

（事務局）火縄銃の披露の前と後で館内を見もらったのでそれほど苦労はなかった。

（委員）来館者の目標値はあるのか。

（事務局）4,000人である。

（2）令和2年度上半期運営状況について

・事務局資料に沿って説明

（委員）「ちずたん」や「いろどり」は非常に面白かったのでぜひ今後とも企画してほしい。秋以降の計画はどうなっているか。

（事務局）ギャラリートークは2回ほどを予定している。ロビーで小コンサートや展示をすることで多くの人に来ていただきたい。ホットホットコンサートは昨年度180人来たので今年度どうするかは関係者と相談する。イベントをどういう形でやるかは検討している。安全優先でやっていきたい。

（委員）酒田市美術館と土門拳美術館ではスクールプログラムを提案している。事業で活用できるものとタイアップをすると学校として使いやすい。

◎その他

(委員) 学芸員の育成の予算は大丈夫か。

(事務局) 予算は大丈夫。学芸員の研修に行ける体制を整える。

(委員) 学びの場だけでなく、発表の場として可能であれば活用してもよいのでは。会員制度があるが、他の所では中にポスターやニュースなどを入れている。そういうものを作成してもよいと思う。

以上